

平成20年5月27日

各 位

株式会社 埼玉りそな銀行

お客さま情報の紛失について

今般、当社において預金印鑑届・お申込書・ATMジャーナル等のお客さま情報が記録・記載された資料の保管状況の調査を行った結果、当該資料の一部について紛失していることが判明致しました。

紛失の概要は以下のとおりです。

該当支店数 : 106店(有人出張所を含みます)

情報件数 : 約13万3千件

記録されている主なお客さま情報: お客さま名、住所、電話番号、口座番号、取引金額等
詳細は別添資料をご参照下さい。

また、本件により預金印鑑届の紛失が判明したお客さまには、今後のお手続きについてのご協力をお願いいたしたく、別途ご案内の通知を発送させていただいております。

内部調査の結果、これらの資料につきましては、保管期限を経過した書類に混入するなどして、誤って廃棄した可能性が高く、外部へ流出した可能性は極めて低いものと考えております。

なお、これまでに、本件に関するお客さま情報が不正に利用されたとの連絡やお問い合わせはございません。

このような事態を招きましたことは、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に向け、今後、お客さま情報の管理につきまして、一層の強化・徹底を図ってまいります。

本件に関するお客さま専用のお問い合わせ窓口は以下の通りです。

電話番号 : 0120-20-3192 (フリーダイヤル)

受付時間 : 午前9時から午後5時まで (土・日・祝日を除く)

以 上

資料別紛失発生店一覧表

種類	情報内容	お取引件数	支店名(五十音順) 1
預金印鑑届	・お客さま名 ・住所 ・電話番号 ・口座番号 ・お届けの 印影 等	8,243件	<p><あ行> 上尾、上尾西口、朝霞、伊奈、入間、岩槻、浦和中央、浦和東口、大井、大手町中央、大宮、大宮西、小鹿野、岡部、小川、桶川、越生毛呂山</p> <p><か行> 籠原、春日部、春日部西口、霞ヶ関、加須、上福岡、川口、川口南平、川越、川越南、騎西、北浦和、北浦和西口、北越谷、北本、行田、久喜、熊谷、熊谷駅前、栗橋、県庁、鴻巣、越谷、児玉、小手指</p> <p><さ行> さいたま営業部、さいたま新都心、坂戸、指扇、幸手、狭山、志木、菫蒲、庄和、白岡、新河岸(出)、新狭山、新所沢、杉戸、せんげん台、草加</p> <p><た行> 武里、秩父、鶴ヶ島、鶴瀬、所沢、所沢東口(出)、戸田、土呂(出)</p> <p><な行> 七里、新座、西川口、日進</p> <p><は行> 蓮田、鳩ヶ谷、羽生、飯能、東岩槻、東浦和、東大宮、東川口、東松山、日高、深谷、吹上、ふじみ野、本川越、本庄</p> <p><ま行> 松原、松伏(出)、三郷、みずほ台、皆野、南浦和、南越谷、宮代、宮原、武蔵浦和、武蔵藤沢、妻沼</p> <p><や行> 八潮、吉川、与野、寄居</p> <p><ら行> 嵐山(出)</p> <p><わ行> 和光、鷲宮、蕨、蕨東</p>
還元資料 2	・お客さま名 ・お客さま番号 ・口座番号 等	2,356件	上尾、朝霞、伊奈、岩槻、浦和中央、大宮、小川、桶川、越生毛呂山、籠原、春日部、加須、上福岡、川口、川越南、北越谷、行田、熊谷、熊谷駅前、栗橋、鴻巣、坂戸、菫蒲、杉戸、武里、戸田、七里、羽生、東松山、日高、深谷、吹上、本庄、松伏(出)、宮原、妻沼、嵐山(出)、和光、蕨
(特別)非課税貯蓄申告書(銀行控)	・お客さま名 ・住所 ・生年月日 ・最高限度額 等	9件	行田、熊谷駅前、八潮
個人年金保険申込書(銀行控)	・お客さま名 ・住所 ・電話番号 ・生年月日 等	17件	川越、熊谷駅前、新所沢、せんげん台、松原、南越谷、武蔵浦和、蕨東
教育ローン申込書	・お客さま名 ・住所 ・電話番号 ・生年月日 ・申込金額 等	1件	南浦和
ATMジャーナル 3	・お客さま名 ・口座番号 ・お取引種類 ・金額 等	1,227,778件	上尾、上尾(県立がんセンター)、上尾(上尾ヨック'ソク'ア'エコー)、上尾(日産ティール工業上尾工場)、上尾(上尾駅東口)、入間(入間市駅前)、大井(ふじみ野市大井総合支所)、熊谷駅前、武里、羽生、東岩槻(東武豊春駅)、ふじみ野(ふじみ野駅東口)、南越谷、蕨(蕨市役所)
伝票	・振出人名 ・依頼人名 ・受取人名 ・口座番号 ・金額 等	84件	武里、松原、寄居
合計		1,334,888件	

1:「支店名」欄について、(出)と記載があるのは有人出張所です。また()書きの中は店舗外無人出張所名を記載しております。

2:還元資料とは、本部から営業店に還元される内部管理資料です。

3:ATMジャーナルとは、ATM利用時に「ご利用明細」等が記録されるロール状になった記録紙のことで、「暗証番号」は記載されていません。

4:ATMジャーナルはシステム上正確な件数把握が困難なものがあるため、「お取引件数」欄について、一部直近の実績値に基づいた推定値を用いて、合計件数を算出しています。